

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 6 月 25 日 (2015.6.25)

【公表番号】特表 2014-513191 (P2014-513191A)

【公表日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【年通号数】公開・登録公報 2014-028

【出願番号】特願 2014-509713 (P2014-509713)

【国際特許分類】

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/5399 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 8 K 5/49 (2006.01)

C 0 8 K 7/14 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 K 5/5399

C 0 8 K 5/5313

C 0 8 K 5/49

C 0 8 K 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 5 月 7 日 (2015.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱可塑性成形材料であって、

a) 成分 A としての、少なくとも 1 つの脂肪族ポリアミドまたはコポリアミド 45 ~ 87 質量%、

b) 成分 B としての、少なくとも 3 個のフェノキシホスファゼン単位を有する、少なくとも 1 つの環状フェノキシホスファゼン 2 ~ 10 質量%、

c) 成分 C としての、少なくとも 1 つの (ジ) ホスフィネート塩 8 ~ 17 質量%、

d) 成分 D としてのメラミンポリホスフェート 1 ~ 15 質量%、

e) 成分 E としてのホウ酸亜鉛 0.1 ~ 5 質量%、

f) 成分 F としての、少なくとも 1 つの耐衝撃性を改良するポリマー 0 ~ 20 質量%、

g) 成分 G としての、ガラス繊維 0 ~ 50 質量%、

h) 成分 H としてのさらなる添加剤 0 ~ 30 質量%

からなり、

その際に成分 A ~ H の全体量は、100 質量%である、前記熱可塑性成形材料。

【請求項 2】

成分 A がポリアミド - 6、ポリアミド - 66 またはこれらのコポリアミドもしくは配合物であることを特徴とする、請求項 1 記載の熱可塑性成形材料。

【請求項 3】

成分 B が 3 個のフェノキシホスファゼン単位を有する環状フェノキシホスファゼンと 4 個のフェノキシホスファゼン単位を有する環状フェノキシホスファゼンとの混合物であることを特徴とする、請求項 1 または 2 記載の熱可塑性成形材料。

【請求項 4】

成分 G として、ガラス繊維 5 ～ 50 質量 % が存在することを特徴とする、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

【請求項 5】

成分 F として、エチレンとアクリレート、アクリル酸および / または無水マレイン酸とのコポリマーが使用されることを特徴とする、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

【請求項 6】

成分 C として、少なくとも 1 つのアルミニウムジアルキルホスフィネートが使用されることを特徴とする、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

【請求項 7】

成分 B ～ E の全体量が 10 ～ 40 質量 % であることを特徴とする、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料を製造する方法であって、成分 A ～ H を混合する、前記方法。

【請求項 9】

請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の熱可塑性成形材料からの成形体、繊維またはシート。